

退公連 福島支部だより

第83号

発行所

福島県退職公務員連盟福島支部
〒960-8043 福島市中町5-21
県消防会館内

TEL/FAX

(024)522-0612

発行者

齋藤文和

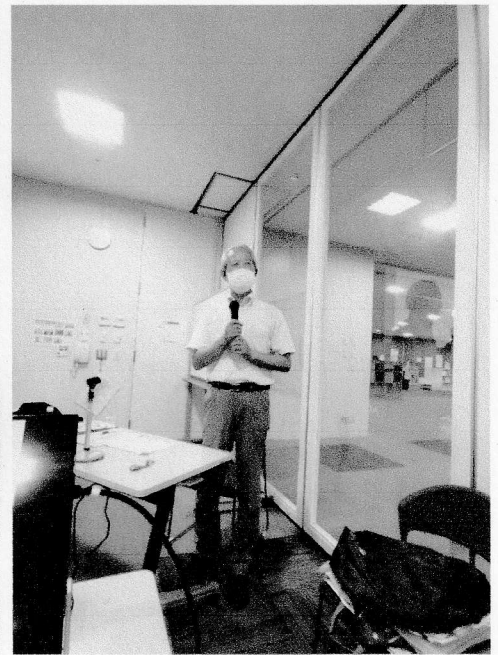
3年ぶりの年金研修会

去る9月18日(月)、敬老の日に「年金研修会」を3年ぶりに開催しました。この日、A0Zの会場に集まったのは伊達・福島・安達支部の会員並びに現職の方、総勢40名でした。「人生100年時代の公的年金制度」と題し、制度の仕組みと現状並びに今後の課題等、制度全般にわたり、福島県退職公務員連盟 年金部長 秋山時夫様を講師に迎え、お話をいただきました。

伊達・福島・安達の三支部、また、現職や一般人をも含めたオープン参加を進めた結果、多くの人に参加をしていただきました。年金制度の再確認、年金問題の重大さを再認識させていただきました。さらに退公連の果たすべき役割がはっきりと見えた講演でした。



研修会会場の様子



講師 秋山時夫 様

参加者の声

私は、今年の6月に還暦を迎えました。退職に関すること、特に、退職後の生活、そしてその生活を支える経済的なことが気になり始めていました。その中の一つに「年金」がありました。しかし、年金に関する知識は「65歳からもらえる」ということくらいで、その他の内容は全くと言って良いほどありませんでした。そのような中、年金研修会が開催されると聞き、年金について理解を深める第一歩として参加してみることにしました。

今回、研修に参加し、年金制度の仕組みを少しだけ理解できたように思います。そしてまた、年金に関する関心度は高まったように感じています。特に、自分自身にかかわる具体的な内容、例えば「いつからどのような手続きで受給できるか?」「受給額はどれくらいか?」などが私自身の一番の関心事です。

これらの点については、今後、関係機関に問い合わせ、さらに理解を深めていく必要があると思っています。また、専門的な用語も沢山あり、制度の仕組みもまだわからない所もありますので、今回の研修会をきっかけに人生に直接役立つ知識にしていきたいと考えています。今回、広く参加を呼びかけてくださり、参加させていただきましたこと感謝申し上げます。

一日研修旅行を秋空のもと実施しました 福祉部主催 (最後のサムライ・JR只見線)

去る10月3日(火)、悪天候の合間をくぐって、奇跡的快晴のもと「福島支部 一日研修旅行」を実施しました。会員・一般参加者を含め総勢35名でのバスツアーです。最後のサムライと言われる幕末の異才「河井継之助」の足跡を辿るとともに、11年ぶりに再開したJR只見線に乗って奥会津の自然に触れる旅です。天気晴朗にして心高しでしょうか、笑顔満載のバス旅行でした。只見線乗車では、只見線地域コーディネーターを務める酒井治子さんの解説を聞きながら沿線地域の理解を深め、その様子が民報新聞にも紹介されました。(因みに、酒井さんの叔父(伯父)?様は福島市で教員をされていたメグロさんだそうです。また、会津にマッターホルンが存在したのは驚きでした。)



只見線の利用促進へ
退職公務員が只見線
会津川口駅間で乗車
元県生活環境部長ら
退職公務員連福島支部
の会員35人は3日、全線再
開通から1年を迎えたJR
只見線の利用促進に貢献し
ようと、只見(只見町)・
会津川口駅(金山町)の区
間で乗車した。
只見線地域コーディネ
ーターを務める酒井治子さ
んの解説を聞きながら沿線
地域に理解を深めた。20
16(平成28)年4月から
2018年3月末まで県生
活環境部長を務め、只見線
の復旧に関わる業務に携わ
った尾形淳一さん(65)は車
窓から見える美しい風景に
目をやり、「最初は復旧は
難しいとさえ考えていた
が、地元住民の熱い思いに
動かされて実現に至った」
と感慨深そうに振り返っ
た。同じく県生活環境部長
を経験した阿久津文作さん
(71)は全線再開後に初め
て乗った。南会津町出身で
あるため「同じ奥会津の鉄
道がにぎわっていてうれし
い」と笑顔を見せた。
列車内から沿線住民に手
を振った元県警刑事部長の
今泉満臣さん(68)は「地元
の人が只見線に手を振る姿
に心が温まった」と感想を
語った。
只見線に乗車し酒井さん(右)
からの説明に聞き入る中央
左から阿久津さん、尾形さん
11月3日午後2時30分ごろ、退
職公務員連福島支部提供)



河井継之助 (只見町記念館)

令和5年10月4日掲載記事 (民報新聞)

【感想】 河井継之助記念館では、過去の記憶が現地ガイドの説明で線となり、歴史の糸が紡がれた貴重な経験でした。また、JR只見線乗車でも酒井治子さんの納得のいく説明で沿線での住民生活の理解を深めることができました。福島支部福祉部員の企画・運営の素晴らしさが、参加者の笑顔に結実した意義深い旅でした。(感謝)

一日研修旅行に参加させていただいて...
吉井田2 吉川和子様

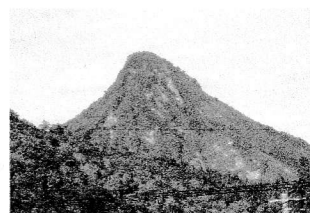
晴天の朝、爽やかな秋風の中を歩き、集合場所の福島駅西口のバス乗り場へ向かいました。4年ぶりに再開された研修旅行との事ですが、私にとっては、退職9年目にして初めての参加です。

研修内容は、只見を中心とする魅力的な企画で、個人で実行しようとするれば一日では到底無理だろうと思われる凄いものでした。

午前中は幕末の異才と謳われる「河井継之助」記念館の見学です。以前から興味を持っていましたが、記念館のガイドさんの丁寧な説明のお陰でその人となりや只見町塩沢地区で亡くなった経緯を知るとともに、地域の人々が長くお墓を守り続けてきた心意気に感心いたしました。

昼食は、只見の深沢温泉「季の郷湯ら里」で食べきれない程の豪華なお弁当をいただきました。ここで、温泉好きの私は豪華昼食もそこそこに、隣にある日帰り温泉「村湯」に走り、黄金色の湯に浸って大きな窓から美しい山々を眺め、大変満

只見のマッターホルン
蒲生岳(車窓より)

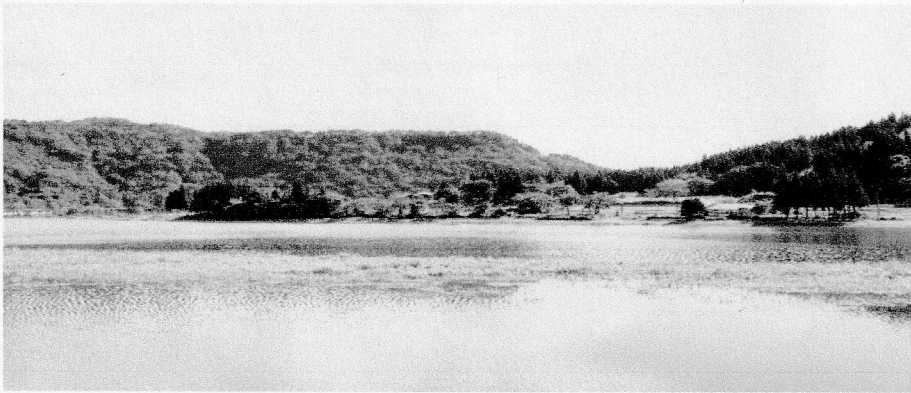


足でした。

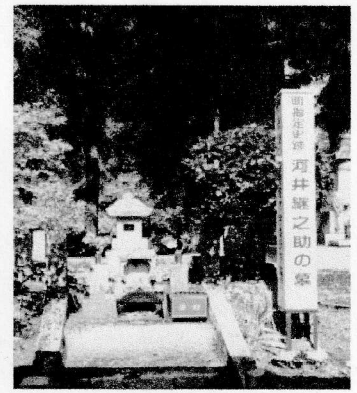
午後は、昨年全線復旧したJR只見線の乗車です。車内では、テレビで何度か拝見したことのある「只見線地域コーディネーター・酒井治子」さんが沿線ガイドをしてくださいました。お陰で、車窓から見える沿線住民の方々が手を振ってくださるポイント、手作り案山子、只見川の鉄橋や発電所等の建造物、炭酸源泉や温泉の数々、そして青空に映える美しい蒲生岳の姿……等々、見落とすことなく只見駅から川口駅までの50分程の列車の旅を堪能することができました。

川口駅から再びバスに乗り、久しぶりにお会いすることができた先輩と楽しいおしゃべりに花を咲かせているうち、あっという間に福島駅に帰り着き、充実した一日を過ごすことができました。

この素敵な研修旅行を企画・運営してくださった事務局の皆様、さらには、この旅に誘ってくださった先輩と夫に心から感謝いたします。



このたおやかな只見川の川底に160年前の歴史が眠っていた。見える景色はこの上なく美しい……。



継之助の墓 官軍に知られないようひっそりと建てられた。



只見駅ホームで記念撮影 (前列右より4人目が酒井治子さん)

「飯館村長泥地区環境再生事業見学会」に参加して

笹谷 5 五十嵐 登



去る、7月24日開催の上記見学会に参加したので、そのことを記してみたい。行くときは、川俣町山木屋を経由して行った。途中トンネルが4~5か所ぐらいあり、約1時間程で到着した。

まず、中間貯蔵情報センターで、原子力配電研究協会の専門官より、「放射線の基礎と福島の実況」の講義を受けた。その中で山林は除染していないので、キノコ類とタケノコ類は食べ

ることはできないという。

現地の畑に約50cmぐらい土盛りして、野菜と花卉(かき)類を栽培している。残念なことは、現地住民の参加者がいないので、住民の現状は聞けなかった。環境省職員によると、施設を建設中であり完成するまで、約4年間位が必要であるという。

帰りは飯館村の駅「までい館」に立ち寄った。帰りの道路の両端に「紫陽花」が丁度、満開であった。これは村民が植栽されたことであろう。

この見学会で、やはり現地に行かないと実感が湧かないと思う。「百聞は一見にしかず」であるが、いろいろと勉強になったことを痛感した次第である。

おめでとうございます

百 歳 賀 寿

大正12年生まれの方々

- 安 田 三 郎 様 (蓬萊4-1・市町村)
- 植 田 英 子 様 (渡利4・教職)
- 蒲 倉 芳 子 様 (北沢又2・教職)

高 齢 者 叙 勳

瑞宝小綬章

- 佐 藤 家 治 様 (信夫3-2・県職)

秋 の 叙 勳

瑞宝双光章

- 広 川 康 明 様 (岡山2・警察)

瑞宝双光章

- 福 井 一 明 様 (三区1・教職)

母から子への手紙コンテスト

佳作

- 竹之下 道子様 (区外・教職)

金 婚 ご 夫 妻

- 佐 藤 忠 雅・伸 子 様 (蓬萊1・教職)
- 鈴 木 昭 彦・由 紀 子 様 (蓬萊4-2・警察)
- 鈴 木 泰 雄・か つ 子 様 (杉妻2・県職)
- 松 浦 芳 孝・の ぶ 子 様 (余目・教職)
- 渡 邊 修・イ ネ 様 (西信・県職)

どうぞ宜しくお願いいたします

新 入 会 員

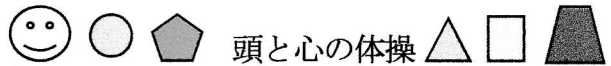
- 大 越 純 子 様 (三区2・教職)
- 黒 羽 慎 一 様 (鎌田6・教職)
- 根 本 幸 枝 様 (一区1・教職)
- 佐 藤 家 治 様 (信夫3-2・県職)
- 目 黒 満 様 (鎌田6・教職)
- 山 崎 浩 三 様 (森合1・教職)
- 高 澤 朱 様 (三区9・教職)
- 立 谷 栄 子 様 (一区1・教職)
- 菅 野 敏 様 (吉井田2・県職)
- 橋 本 雅 之 様 (笹谷1・県職)
- 菅 野 康 範 様 (飯坂3・県職)
- 齋 野 和 則 様 (鎌田3・県職)
- 益 子 公 司 様 (渡利4・県職)
- 高 橋 徳 行 様 (五区2・団職)
- 高 野 武 彦 様 (三区7・県職)
- 安 齋 浩 記 様 (北沢又2・県職)
- 長 谷 川 守 様 (清水7・県職)
- 宇 佐 見 明 良 様 (三区1・県職)

- 伊 藤 直 樹 様 (北沢又6・県職)
- 新 妻 政 弘 様 (三区4・県職)
- 丹 治 光 夫 様 (渡利6・教職)

お 悔 み

- 古 山 直 一 様 (清水10・県職)
- 加 藤 栄 一 様 (松川1・教職)
- 平 栗 修 様 (杉妻1・警察)
- 渡 辺 敏 明 様 (飯坂3・教職)
- 荒 井 一 様 (北沢又7・県職)
- 天 野 裕 弘 様 (笹谷4・県職)
- 尾 形 博 様 (渡利2・教職)
- 三 瓶 行 夫 様 (笹谷2・教職)
- 梅 宮 勇 治 様 (岡山5・警察)
- 田 中 喜 明 様 (蓬萊5・警察)
- 亀 岡 貞 男 様 (四区3・県職)
- 遠 藤 勝 男 様 (北沢又6・県職)
- 面 川 征 洋 様 (瀬上3・教職)
- 岩 橋 一 郎 様 (岡山1・県職)
- 仁 志 宏 様 (渡利6・県職)
- 佐久間 秀 男 様 (森合3・教職)

生前のご功績を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



今回は難読漢字です。難解なので何回でも繰り返し覚えてみてください。ヒントは「鳴いて血を吐く」です。何と読みますか？

時鳥 不如帰 杜鵑 子規 鶉

福 島 県 退 職 公 務 員 連 盟 の ホ ー ム ペ ー ジ

県退職公務員連盟がHP (ホームページ) を開設しています。是非アクセスしてみてください。他支部の様子も掲示しています。



https://fukushima-taikouren.com

編 集 後 記

最近コロナウィルスの感染状況が見えづらくなってしまいました。コロナ感染症が5類になっても、ウィルスは残念ですが未だ健在です。インフルエンザと併せて感染予防は怠らないようにしましょう。また、プール熱やノロウィルスにも要注意です。